

# 研究の全体構想

【学校教育目標】 かしこい子 心豊かな子 すこやかな子  
【重点】 自己肯定感・規範意識の醸成  
かしこい子・・・「わかる・できる授業」の創造

研究主題 **学びをつなぐ児童の育成**  
～「課題解決の過程」と「伝え合う活動（対話）」の充実～

## 目指す児童像

低学年	中学年	高学年
<p><b>【個】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>自分の考えをもつ。</li><li>相手の話を最後まで話を聞き、自分の考えを最後まで伝える。</li></ul> <p><b>【集団】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>大事なことを落とさずに聞いたり話したりする。</li><li>相手の話を受け止める。</li></ul>	<p><b>【個】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>自分の考えをしっかりとつ。</li><li>考えを表現したり、発信したりすることができる。</li></ul> <p><b>【集団】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>友達の話を自分の考えと比べながら聞く。</li><li>自分の考えを再構築する。</li></ul>	<p><b>【個】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>根拠をもとに、自分の考えをもつ。</li><li>相手の話を受け止め、つなげる。</li><li>根拠をもとに、自分の考えを伝え合い、深め合う。</li></ul> <p><b>【集団】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>主体的に新たな考え、方法を見だし、活動する。</li><li>互いに認め合い、学級全員で一つのものをつくる。（つなぐ）</li></ul>

## 具体的な手立て

<ul style="list-style-type: none"><li>学習習慣の徹底を図る。</li><li>言葉のまとまりを意識して読んだり書いたりさせ、視写力や読む力を高める。</li><li>既習事項を想起させ、課題解決で活用できるようにする。</li><li>自力解決時間を保障する。</li><li>自分の考えの表し方や説明の仕方を指導する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>考えたくなるような授業の場面や発問を工夫する。</li><li>学習形態を工夫する。</li><li>児童同士の考えをつなぐために、単元や本時のねらいにせまるための視点を明確にする。</li><li>話の聞き方、考えの表し方、説明の仕方など、学び方を指導する。</li><li>それぞれの考えの共通点や相違点を全体で確認する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>自分の考えをもてるような授業構成の工夫をする。（ゴールまでの見通し、資料提示の仕方、順序など）</li><li>対話のねらい・ゴールの明確化</li><li>対話を「続ける」だけでなく、「つなげて話す」を意識させる。</li><li>対話による学びの価値を自覚できるように価値付ける。</li></ul>
---	---	--

**【研究を支える活動・取組】**

家庭学習コーナーの設置    国語辞典の活用    読書週間  
朝学習（「対話」・「書くこと」の取組, 学年音読集会）    滝小スタンダード  
諸調査の分析を活用（CRT, NRT, 全国学調, 県学調）